

- 問1 平安時代、藤原氏は自分の娘を天皇の后（きさき）とし、生まれた子を次の天皇に立てることで政治の実権を握りました。このように、天皇が幼少である期間に、その名代として政治を行う役職を何といいますか。 （2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 征夷大將軍 2. 関白 3. 摂政 4. 太政大臣
-
- 問2 平安時代の文化の特色について述べた学習メモにおいて、「中国から取り入れた漢字を簡略化するなどして作られた文字が普及し、日本独自の感情や情景を表現する文学が発展した」という内容があります。この文字の名称と、その文字を用いて書かれた文学作品の組み合わせとして最も適切なものを選びなさい。 （2017年 群馬県公立入試 類似）
1. 万葉仮名 — 万葉集 2. かな文字 — 源氏物語 3. 絵文字 — 鳥獣人物戯画 4. 梵字 — 密教の経典
-
- 問3 平安時代末期、白河上皇の邸宅跡からは当時の高度な文化を示す青磁などが発掘されています。このように、天皇が位を譲った後も「上皇」として自らの居所で政治の実権を握り、天皇に代わって政治を執り行う形態を何と呼びますか。 （2024年 栃木県公立入試 類似）
1. 院政 2. 合議制 3. 武家政治 4. 摂関政治
-
- 問4 平安時代末期、武家として初めて太政大臣の地位に就いた平清盛が、兵庫の「大輪田泊」を修築して積極的に推進した、大陸の王朝との貿易について述べた文として正しいものはどれか。 （2026年 静岡県公立入試 類似）
1. 明の皇帝から日本国王に封じられたことをきっかけに、勘合という札を用いて倭寇と区別しながら貿易を行った。 2. 宋との貿易を盛んに行い、輸入された大量の銅銭は日本国内で貨幣として流通し、経済の活性化につながった。 3. 唐との貿易を再開し、遣唐使を通じて最新の律令制度や仏教文化を導入することで、中央集権国家の確立を狙った。 4. 元の侵攻に備えるため、大陸との貿易を厳しく制限し、博多に防塁を築いて沿岸部の警備を強化した。
-
- 問5 平安時代、天皇が幼少のときや女性である場合に、天皇に代わって政治の全権を担った役職は何ですか。 （2017年 大阪府公立入試 類似）
1. 摂政 2. 太政大臣 3. 関白 4. 執権
-
- 問6 奥州藤原氏が拠点とした平泉の文化や歴史的背景について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。 （2021年 三重県公立入試 類似）
1. 浄土信仰の影響を強く受け、中尊寺金色堂などの華麗な寺院が建立された。 2. 運慶や快慶などの仏師が活躍し、東大寺南大門に金剛力士像が安置された。 3. 聖武天皇の命により、国家の安寧を願って東大寺の大仏が造られた。 4. 足利義満によって、公家文化と武家文化が融合した金閣が建立された。
-
- 問7 東北地方の歴史と地理に関する記述において、北上高地の西側に位置する岩手県平泉には、奥州藤原氏によって建立された中尊寺金色堂があることが記されています。この中尊寺金色堂と共通の仏教信仰に基づき、平安時代に建立された建築物として最も適切なものはどれですか。 （2024年 宮城県公立入試 類似）
1. 聖武天皇の遺品を納めるために奈良に作られた正倉院 2. 聖徳太子によって飛鳥時代に建立された法隆寺 3. 京都の宇治に藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂 4. 運慶・快慶らによって金剛力士像が作られた東大寺南大門
-
- 問8 894年に遣唐使が廃止されたことを一つの契機として、平安時代中期に発達した、日本の風土や日本人の生活・感情に合わせた独自の文化を何と呼びますか。 （2023年 岐阜県公立入試 類似）
1. 国風文化 2. 飛鳥文化 3. 天平文化 4. 弘仁・貞観文化
-
- 問9 平安時代中期に広く信仰された「浄土信仰」と、その代表的な建築物である平等院鳳凰堂の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 （2021年 東京都公立入試 類似）
1. 平安京から地方に逃れた貴族たちが、地方豪族と協力して独自の文化を築く過程で、現世での利益を祈願して建立された。 2. 仏教の力で国家の安泰を願う「鎮護国家」の思想に基づき、天皇が全国に建立を命じた国分寺の代表的な施設として作られた。 3. 大陸との貿易を通じて伝わった禅宗の教えに基づき、武士が精神修養を行うための場として、簡素な造りで建立された。 4. 社会不安が広まる中、阿弥陀仏にすがって死後に極楽へ行くことを願う信仰が広まり、その願いを具現化する形で貴族によって建立された。
-
- 問10 院政を行っている上皇が、自らの命令を伝えるために発した公的な文書や、その政治の拠点となった組織の組み合わせとして正しいものはどれか。 （2024年 新潟県公立入試 類似）
1. 御教書（みことり）と問注所 2. 奉書（ほうしょ）と六波羅探題 3. 院宣（いんせん）と院庁（いんのちょう） 4. 下知状（げちじょう）と政所
-
- 問11 最澄が比叡山に延暦寺を建立した際、この寺院が担ったとされる平安京との地理的な関係や役割として、最も適切な説明を選びなさい。 （2018年 福島県公立入試 類似）
1. 遣唐使が東シナ海へ出発する際の航海安全を祈願するため、難波津に近い山に建設された。 2. 平安京から見て不吉な方角とされる北東（鬼門）に位置し、都を災いから守る役割を担った。 3. 奈良の旧仏教勢力との連携を深めるため、平城京と平安京の中間地点に建設された。 4. 天皇の住まいである御所のすぐ隣に配置され、政治の意思決定を直接補佐する役割を担った。
-
- 問12 古今和歌集の編纂の中心人物であり、かな文字を用いた日記文学の先駆けである『土佐日記』の著者としても知られる人物は誰ですか。 （2022年 三重県公立入試 類似）
1. 藤原定家 2. 紫式部 3. 山上憶良 4. 紀貫之
-
- 問13 平清盛が行った、自身の政治的・経済的な力を強めるための政策として、最も適切な説明はどれですか。 （2015年 長野県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を認める代わりに、南蛮貿易を独占してヨーロッパの最新技術を取り入れた。 2. 独自の法典である御成敗式目を制定し、武士同士の領地争いを裁く基準を明確にした。 3. 全国に守護と地頭を設置することで、地方の武士や土地に対する支配力を強化した。 4. 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。
-
- 問14 平安時代中期、藤原氏は自身の娘を天皇の后（きさき）とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで権力を維持しました。このように、天皇が幼少のときはその後見人として、成人した後は補佐役として、藤原氏が政治の実権を握った体制を何といいますか。 （2022年 京都府公立入試 類似）
1. 摂関政治 2. 建武の新政 3. 院政 4. 執権政治

答え合わせ・解説

問1	答え 3 摂政	藤原氏は天皇の母方の親戚（外戚）という立場を利用して、政治の重要なポストを独占しました。天皇がまだ子供である時に、天皇に代わって政治を執り行う役職が摂政です。一方で、天皇が成人した後に、その補佐として政治を行う役職は「関白」と呼ばれ、これらを合わせて摂関政治といいます。
問2	答え 2 かな文字 — 源氏物語	漢字の一部を取ったり、全体を崩したりして作られた「かな文字」の発明は、国風文化における大きな特徴の一つです。これによって、紫式部が著した『源氏物語』や清少納言の『枕草子』など、貴族女性による優れた文学作品が生み出され、日本独自の文化が深まる要因となりました。
問3	答え 1 院政	11世紀後半に白河上皇が始めた政治形態です。藤原氏が天皇の外戚（母方の親戚）として権力を持っていた摂関政治を抑え、皇室が政治の主導権を取り戻すために行われました。天皇が位を譲り、上皇となった後も「院庁」という独自の役所を置いて実権を振るいました。
問4	答え 2 宋との貿易を盛んに行い、輸入された大量の銅銭は日本国内で貨幣として流通し、経済の活性化につながった。	平清盛は、自身の権力基盤を強化するために日宋貿易を主導しました。現在の神戸市にあたる大輪田泊を整備して大型船の出入港を可能にし、宋から輸入された「宋銭（銅銭）」は国内で広く使われるようになり、貨幣経済の発展に大きく寄与しました。他の選択肢にある「唐」は平安時代中期以前、「元」は鎌倉時代、「明」は室町時代の出来事であり、時代背景が異なります。
問5	答え 1 摂政	天皇の代理として政治を行う役職であり、平安時代には藤原氏がこの職を独占しました。天皇が成人した後にその相談役として置かれる「関白」と合わせて、藤原氏による政治体制を支える重要な柱となりました。鎌倉時代に幕府の実権を握った「執権」とは、その役割や時代背景が異なります。
問6	答え 1 浄土信仰の影響を強く受け、中尊寺金色堂などの華麗な寺院が建立された。	平安時代末期には、阿弥陀如来を信仰して死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が流行しました。奥州藤原氏は豊富な金や馬の産出による経済力を背景に、平泉に中尊寺や毛越寺を建立し、その建築や庭園を通じて地上に極楽浄土を再現しようとしていました。
問7	答え 3 京都の宇治に藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂	岩手県平泉の中尊寺金色堂と京都の平等院鳳凰堂は、どちらも平安時代に流行した浄土信仰に基づいて建てられた阿弥陀堂です。当時、中央の貴族文化が奥州藤原氏の手によって東北地方へもたらされ、独自の発展を遂げたことを示す重要な歴史的資料となっています。資料に示された北上高地などの地形的な位置関係とともに、地方における文化の受容を理解することが重要です。
問8	答え 1 国風文化	菅原道真の建議によって遣唐使の派遣が停止されたことで、それまでの中央集権的な唐の文化を模倣する段階から、日本の独自の感性や生活様式を取り入れる段階へと移行しました。この時期に開花した日本独自の文化を国風文化と呼びます。
問9	答え 4 社会不安が広まる中、阿弥陀仏にすがって死後に極楽へ行くことを願う信仰が広まり、その願いを具現化する形で貴族によって建立された。	平安時代中期には、仏教の教えが衰える「末法」の世が来ると信じられ、人々の間で死後の不安が高まりました。これを受けて「浄土信仰」が貴族から庶民まで浸透し、平等院鳳凰堂のような極楽浄土をイメージした華麗な阿弥陀堂が建立されるようになりました。
問10	答え 3 院宣（いんぜん）と院庁（いんのちょう）	上皇は「院庁」という私的な役所を設置し、そこから出される「院宣」という命令を通じて政治を行いました。これにより、律令制度で定められた太政官などの公的な政治ルートを通さずに、上皇が直接的に意思決定を行うことが可能になりました。
問11	答え 2 平安京から見て不吉な方角とされる北東（鬼門）に位置し、都を災厄から守る役割を担った。	比叡山は平安京の北東に位置しており、当時の陰陽道の考え方で災いが入り込むとされる「鬼門」にあたります。そのため、延暦寺は国家を鎮め、都を災厄から守る「鎮護国家」の道場として、朝廷から厚い保護を受けました。
問12	答え 4 紀貫之	紀貫之は古今和歌集の選者の一人であり、その序文（仮名序）を執筆したことでも有名です。また、当時男性は公的な文書を漢文で書くのが一般的でしたが、彼はあえて女性を装ってかな文字で『土佐日記』を執筆し、国風文化における文学の発展に大きく貢献しました。山上憶良は奈良時代の歌人、藤原定家は鎌倉時代初期の『新古今和歌集』の編纂者です。
問13	答え 4 自分の娘を天皇のきさきとし、その間に生まれた子を天皇に即位させることで、天皇の親戚として権力を強めた。	平清盛は、かつての藤原氏が行った摂関政治と同じ手法を用いました。娘の徳子を高倉天皇のきさきにし、その子の安德天皇を即位させることで、天皇の祖父（外戚）として強い発言力を持ちました。また、並行して大輪田泊（現在の神戸市付近）を整備し、日宋貿易を推進して経済力も蓄えました。
問14	答え 1 摂関政治	藤原氏は、天皇が幼少のときに置かれる「摂政」と、成人した後に置かれる「関白」という重要な役職を独占することで政治を動かしました。この二つの役職の名称から、この政治体制は摂関政治と呼ばれます。藤原道長やその子である頼通の時期に全盛期を迎えました。